

「わくわく地方生活実現会議」論点（案）

1. 若者を中心としたUIJターン対策の抜本的強化

(1) UIJターンを拡大するためにどのような取組が必要か。特に若者が「地方にこそ、チャンスがある」と感じられるような、従来の発想にとらわれない大胆な方策として、どのようなことが考えられるか。

例) ①地方公共団体が個別に実施している様々な施策（地元高校卒業生等への就職案内の発信、複数県合同による東京圏在住学生への地元就職説明会の開催等）の全国展開

②地方ならではの魅力・強みの発信（3. に再掲） 等

2. 地方の人手不足に対応した女性や高齢者の活躍等の推進

(1) 女性や高齢者の活躍等（就業率の向上）を推進するために、どのような方策が必要か。

(2) 地方で人手の需要が供給を上回っており、新たなビジネスのチャンスがあるのではないか。

(3) 外国人留学生を就業しやすくするために、どのような取組が必要か。

3. 地方の魅力、夢の実現等について国民の耳目を集める周知・広報の方策

(1) 地方ならではの魅力・強みとしてどのようなものがあるか。

例) ①短い通勤時間、低い家賃、広い住宅等、暮らしやすい住環境

②仕事や研究、文化、芸術等の創造的活動に専念できる環境

③地域特性をいかした起業に挑戦する機会

④豊かな自然、新鮮な農産物・水産物

⑤固有の歴史・文化・伝統 等

(2) 地方ならではの魅力・強みを国民に周知・広報するためにどのような方策が必要か。

例) ①地方ならではの魅力・強みの「見える」化
（通勤時間、家賃、住宅面積 等）

②一般メディアを活用したPR 等